



食育で野菜や米を栽培

本園では食育を大切にした教育を行っています。現在、年中さんは、ミニトマトやきゅうり、おくらを栽培しています。きゅうりは、実際に収穫して試食をしました。ミニトマトもたくさん実をつけていて、赤く熟するのを待っているところです。年長さんは、全員がバケツ稲に挑戦しています。種もみから育て、今は15センチほどの苗に生長しています。自分が育てている稲を観察したり、記録したりしながら大切に育てています。こうした野菜や米の栽培を通して、食べ物や命の大切さについて学んでほしいと考えています。



体にもしもし、内科検診

6月6日に内科検診を行いました。内科検診では、心臓の動きや肺の呼吸、首の周りのリンパ節の異常の有無、貧血の有無、身長が順調に伸びているか、背骨が曲がっていないかなどを園医の先生が診察をします。こうした検診は子どもたちが健やかに成長しているかを調べる上で大切な検査です。検診後の先生の話では「概ね順調に成長している」とのことでした。

検診の結果、病院の受診が必要な場合は、ご連絡をさせていただきますので、ご家庭での対応をお願いいたします。



ダンゴムシ、大好き

子どもたちはダンゴムシが大好きです。よく園庭の隅の方で落ち葉に隠れているダンゴムシを探している子どもたちの姿を見かけます。中には虫取りかごに何匹も入れてダンゴムシを飼っているお友だちもいます。ダンゴムシが人気なのは、ダンゴムシが小さくてかわいいことやあまり害がないこと、飼いやすいところにあるようです。エサは、落ち葉などですが、ブロックのすき間に固まっていることもあります。ダンゴムシをじっと観察していると様々な発見があるようです。幼稚園の絵本コーナーにはダンゴムシの本が何冊もあります。ダンゴムシのなぞを解くヒントになるかもしれません。



職員が救命法を受講

6月7日(休園日)は、プールの設置と職員研修を行いました。職員研修では、福岡市消防局の方に来ていただき、救命法の講習を受けました。講習内容は二つです。一つは、子どもがのどに食べ物などを詰まらせたとき、吐き出させる方法です。もう一つは、意識不明の時の心臓マッサージとAEDの使い方についてです。どちらも模型の人形を使って実演を交えての講習でした。講習の中で印象的であったのが、救急車が来るまでの救急措置の重要性です。いざという時の対応について認識を新たにする講習になりました。

